



開二小だより

Vol. 177 第4号
平成 29 年 7 月 1 日 発行
練馬区立開進第二小学校
校長 長田 信彦
www.kaishin2-e.nerima-kyo.ed.jp

～ 大 自 然 の 中 で ! ～

校長 長田 信彦

6月19日月曜日より2泊3日の行程で、あおぎり学級軽井沢宿泊学習に行ってきました。中日の20日は初夏を思わせる快晴の中、池の平へとバスを進めました。

登山者避難所監視小屋よりいよいよ出発です。最初は急な上り坂。“村界の丘”を目指しました。登り切ると、気持ちのよい風を受けながらの尾根道が続きます。なにやら恐ろしい名前の“雷の丘”で一休み。さらに階段



の道を上り、“雲上の丘”でも一休み。この休憩の時間は、まさに登山の醍醐味です。遠くに見える黒斑山や浅間山の頂を望みました。遙か眼下には、帰路に通るアヤメ池や木道が見えています。途中どうして命名されたのかは分かりませんが“ピグミーの森”を



抜け、最初の目的地「見晴台」に到着しました。標高 2095mもあります。北アルプスや白根山、ハヶ岳を遙か彼方に、それぞれが岩を選んで休んでいます。ここから次の目的地「三方ヶ峰」2040mまでは、コマクサを見ながらのアップダウンです。ここで気がつ



きました。2年生から6年生までの11人の子供たち。誰一人「まだー」「疲れたー」と根をあげる声が聞こえてきません。みんながこの大自然を思いっきり楽しんでいました。

ここからは下り道です。足元には大きな岩がゴロゴロと続いています。転んでしまう子どもや大人。慎重に進んでいきました。“アヤメ池”で記念写真を撮り、木道を歩

いて登山小屋へ戻りました。途中の東屋でのお弁当。みんなお腹が減っていたのか、嬉しそうな笑顔で食べています。そうです。私たち子ども11人と大人5人は、一つの大きな家族のようなものをつくり、この宿泊学習に来たのです。そしてこの大自然の中で、その絆がより一層強くなっていました。何を求めてここに来たのか。なんだか分かったような気がした大人達でした。そして子ども達。仲間と共に励まし合いながら行程を進めていく面白さを体一杯に感じているようでした。



この後は“白糸の滝”に寄り、とっても冷たい滝水に触れてから、ベルデ軽井沢に帰りました。



もうすぐ夏休みです。ご家族での行楽。テーマパークもいいのですが、たまにはこのような自然の中で過ごされるのもいいのではないのでしょうか。西武線の沿線にも沢山のハイキングや軽登山の出来る自然があります。満足感や達成感、何より絆が深まっていくと思います。

本号が配布される頃、5年生は武石移動教室を終え、東京へと戻っているところです。あおぎり学級同様、沢山のことを学び、体験を通して互いの結びつきを強めての帰京だと思っています。

話題は変わりますが、本年10月7日(土)実施予定の運動会の事です。子ども達の安全面を最優先し、6年生が行っていた「組み立て体操」を他の種目に変更します。現在、教職員総出で新しい演技を模索しています。集団行動やリズムダンス、チアリーディングなどです。ご期待ください。